


【件名】	新中川護岸耐震補強工事（その16）	【事務所名】	江東治水事務所	
【工事場所】	東京都葛飾区奥戸八丁目地内	【受注者名】	CRS株式会社	
【工期】	令和5年1月16日から令和6年1月22日まで	【主たる技術者名】	現場代理人 塚越 航	

【工事概要】

本工事は、想定し得る最大級の地震が発生した場合においても堤防の機能を保持し浸水を防止するために、新中川（八剱橋上流右岸、施工延長183m）において「地盤改良工による護岸の耐震補強」を行ったものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

受注者は、施工に伴う八剱橋仮橋の通行止め期間を限定してほしいとの地元要望を踏まえ、施工計画を見直し、全体工程に支障をきたすことなく要望期間内に仮橋を開放した。これにより地元から感謝状を授与された。

また、ドローンを活用した広報活動やVRを活用した安全教育など、DXを取り入れ工事を進めた。



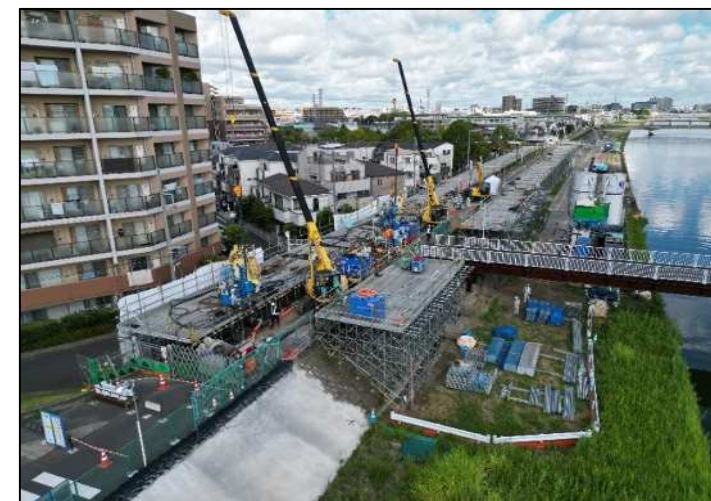
施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
八剱橋仮設人道橋の通行止め解除を小中学校の夏休み期間中に行わなければならなかったため、業者間の調整（工程管理、機械配置、資材の搬入時間）で苦労しました。
- ◇ 特に工夫した点
通行止め前の2週間、人道橋にて歩行者の方に工事のお知らせの配布と説明をおこなって、出来る限り多くの人道橋利用者の方に通行止めになることを周知できるように工夫しました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
懸念される問題点を洗い出し、日々の打合せを密に行い、一つ一つ解決していく中で、無事しゅん功を迎えることができた時、近隣住民の方から感謝の意を頂いた時の達成感は忘れられません。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
建設業は社会資本を整備する、欠かすことのできないやりがいのある仕事です。困難な工事ほどやり遂げた時の喜びや達成感は大きく、その経験は次へのステップにつながり、自信になります。



仮設人道橋部施工状況